

2019年2月定例自然観察会実施報告書

2019年2月10日

山田雄二

■概要：

1. 実施日時：2019年2月9日（土）曇り 最低気温3℃、最高気温7℃（宝塚）
2. 集合場所：阪急中山観音駅9時30分 受付場所（中山寺境内西）まで誘導
3. テーマ：「冬の中山寺を歩く」
4. コース：中山寺～夫婦岩園地～奥の院～清荒神駐車場
5. ポイント：落葉樹の葉が落ちてこそ分かる樹皮による樹木の判別や冬芽の様子、枝ぶりの違いなどを観察し同時によく似た常緑樹（ヒサカキ、クロバイ、シャシャンボ）の葉を観察。
6. 参加者：ビジター31名、会員32名（内17名は4班）合計63名
4班：宇野、川井、熊木、竹上、田中、田丸、辻、坪田（チ）、栃尾、長尾、永田、中塚、中村、矢野、湯浅、陽川、山田（敬称略 計17名）*反省会のみ参加 坪田義治
※ 参考 自主研修会（2月2日）参加会員数35名（内13名は4班）
7. 配布資料：2月定例自然観察会経路概念図並びに植物リスト
8. 班リーダー：ビジター班1班竹上リーダー、2班栃尾リーダー、3班长尾リーダー、4班陽川リーダーそして会員班は坪田（チ）さん、辻さんに案内をお願いします。

■詳細：

直前まで天気予報がはっきりせず一部雨の予報もあったため心配したが当日朝には曇りの予報となり安堵する。中山観音駅前に2名、中山寺山門前1名、中山寺階段上部に2名合計5名のスタッフに誘導をお願いし、中山寺境内の西の空地に受付場所を設定した。今回事前連絡を頂いていたローキング倶楽部10名を含めビジターは31名となった。いつもなら5班体制のビジター班編成をすることで2月の厳冬期ということもあり4班編成としたのは結果的に良かったと思われる。登り始めると基本的にトイレはないので（奥の院トイレは小さく期待できない）事前にトイレを済ませていただくようアナウンスし9時45分から全体説明を開始する。今回は中村さんに準備運動をお願いします。広い場所なので準備運動も余裕をもって行うことができた。



中山寺境内での準備運動（中村さん）



全体説明風景

準備運動後注意事項の説明に続いて班分けを行い10時には1班から順次出発する。奥の院への入り口からは甲山を含めて六甲山地の東側の山並みが見え、その説明をしながら右側には早咲きの梅を見る。



奥の院への道入口



早咲きの梅

木立の中に入るとフラスの出たカシナガ被害木の説明、ソヨゴの特性など順次観察してゆく。順調に進み昼食場所の管理道交差点には1班が12時前に到着する。ここで30分昼休憩。この観察路では主なものとしてアオハダ、イヌツゲ、ソヨゴ、ウメモドキ、タマミズキなどモチノキ科、カマツカ、タムシバ、イイギリ、アカメガシワ、クロバイ、ザイフリボク、ウラジロノキ、ネジキ、シシャンボなどが見られる。またコシダ、ウラジロがお互いに隣接しながら生育しておりその特性も観察する。



甲山など六甲山地を見る



観察風景



昼食場所風景



宇多天皇自彫天神像石碑



コジイの樹冠



ツルドクダミ観察

またヨコヅナサシガメの集団越冬、コゲラ、シジュウカラ、ヤマガラ、シロハラなどの野鳥なども見る事ができた。奥の院ではオハツキイチョウ、トキワガマズミ、マツグミ、ツルドクダミなどを観察する。1班は午後1時10分頃奥の院を下りはじめ、途中ヒメシャラ、ウメモドキ、クロバイ花芽などを観察しながら午後2時10分頃清荒神駐車場に到着し流れ解散とした。他の班も続いて順調に解散地点に到着し最後の会員班も含め午後2時30分には解散。その後5班への定観道具の引き継ぎを行なった。



下山風景



清荒神駐車場到着

■感想：

- 今回下りに自信のない参加者も含まれていたためいつも以上にビジター参加者に気配りをして結果的に無事に何事もなく解散場所までたどり着けた事が何よりだった。
- 受付場所が広く今回準備運動が出来たのが良かった。今後も状況が許せば準備運動を行いたい。
- 今回はビジター班を4班集体としたが今後は基本5班集体とし状況によっては6班でも対応できるように班員の知識力とインタープリターとしての基礎力の底上げを行いたい。